

# 憲法改正に揺れる社会に 健全な議論をもたらすためのリトマス紙



日本マネジメント総合研究所(同) 理事長  
経営管理学修士(MBA) 戸村 智憲

## 1. はじめに

第二次安倍政権により、2020年にも9条を本丸とする憲法改正が進められようとしている。

その是非・とらえ方などは、読者諸氏の思想・信条の自由や言論・表現の自由の下で、筆者なりにいう「ポリティカル・ダイバーシティ&インクルージョン(ポリティカルD&I)」として、様々に多様であって良いし、異なる考えを持つ者の人権を侵害して排除(インクルージョンではなくエクスクルージョン)であってはならないことに、議論の余地はないであろう。

では、憲法改正をめぐる議論や世論について、情報操作や何らかの不適切であったり、違法性があつたりする対応はないかと言えば、その答えは必ずしもNOではない。

そこで、健全に改憲・護憲・その他の様々な議論がなされる社会風土を「耕す」(カルティベートする)ために、筆者が法人として試験的に開発したチェックテストを紹介しておきたい。

## 2. 「護改憲デマゴギー病」 チェックテスト

世界・社会や企業内でも、改憲・護憲の過剰な反応や、マイノリティーへの人権侵害など様々な問題が生じている中で、国連出身(専門官)の当社理事長の戸村智憲が開発し筆者の法人としての活動成果・提供物である下記の社会的病理と改憲・護憲等に関



図1

わらず憲法への向き合い方に関するチェックテストをご紹介します。

### <「改憲デマゴギー病」・「護憲デマゴギー病」 チェックテスト>

#### <質問1>

あなたはすでにこの時点でこのチェックテスト自体が護憲派によるものと思い込んでいますか?

Yes or No

※ここでYesのあなたは重症な改憲デマゴギー病に罹患しているようです。

#### <質問2>

あなたは橋の右端に立って物事を見ているとします。その時、橋の真ん中に立っている人も橋の左端に立っている人も、すべて自分からみて「橋の左側に偏って立っている」ように見えますか?

Yes or No

※ここでYesのあなたは、それなりに重症な改憲

デマゴギー病と「改憲乱視症候群」の合併症に罹患しているようです。

<質問3>

あなたは自衛隊は国際社会から見ても実質的に軍隊なんだから改憲して世の実態に合わせて当然だと思っ  
ていますか？

Yes or No

※ここでNoのあなたは、改憲デマゴギー病と都合の悪い真実を改正行為によって合憲・合法化しようとする改憲ロンドリング・脱法行為ならぬ「脱憲行為」症候群の合併症に罹患しているよう  
です。

<質問4>

あなたは「人権は大切だ」、「ダイバーシティ経営は人権が出発点だ」という一言を聞くだけで、あ  
たかも改憲派を否定されたかのような被害妄想に陥っ  
てしまいますか？

Yes or No

※ここでYesのあなたは、改憲デマゴギー病と内  
部統制ではなく思想統制に暴走してしまいかね  
ない「改憲パニック症候群」との合併症に罹患  
しているようです。

<質問5>

もうムカムカが止まりませんか？

Yes or No

※ここでYesのあなた、その症状、逆流性食道炎  
なのかもしれません。

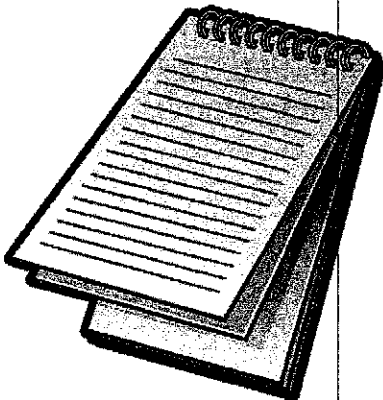


図2

ここまでの質問で、特に拒絶反応を生じなかつた方、心に余裕を持って読み進められた方は、次の質問に進んでみましょう。

<質問6>

あなたはこの質問の時点で、このチェックテスト  
自体が改憲派によるものと思っ込んでいますか？

Yes or No

※ここでYesのあなたは重症な護憲デマゴギー病  
に罹患しているようです。

<質問7>

あなたは橋の左端に立って物事を見ているとしま  
す。その時、橋の真ん中に立っている人も橋の右端  
に立っている人も、すべて自分からみて「橋の右側  
に偏って立っている」ように見えますか？

Yes or No

※ここでYesのあなたは、それなりに重症な護憲  
デマゴギー病と「護憲乱視症候群」の合併症に  
罹患しているようです。

<質問8>

あなたは自衛隊は国際社会から見ても実質的に軍  
隊なんだから護憲して批判に徹すべきだと思っ  
ていますか？

Yes or No

※ここでYesのあなたは、護憲デマゴギー病とリ  
スクを取らないリスクに陥りがちな「リスク・  
アバース症候群」の合併症に罹患しているよう  
です。

<質問9>

あなたは「人権は大切だ」、「ダイバーシティ経営  
は人権が出発点だ」という一言を聞くだけで、あ  
たかも護憲派を賞賛され我が意を得たりといったよう  
な高揚感に抱かれますか？

Yes or No

※ここでYesのあなたは、護憲デマゴギー病と気  
分の高揚で心身ともにコントロールがつかなく  
なる「護憲ハイテンション症候群」の合併症に  
罹患しているようです。

<質問10>

なんかムカムカしてきましたか？

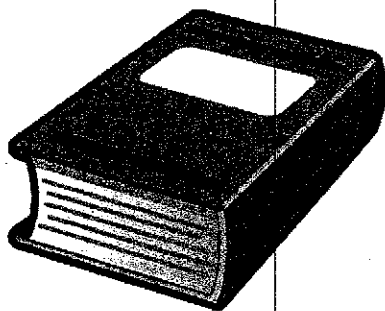


図3

Yes or No

※ここでYesのあなた、その症状、逆流性食道炎なのかもしれません。

### 3. チェックテストのフィードバック

ここまで10の質問すべてを、心身ともに取り乱さず、利権・立場・自己の思考の枠を超えて平穩に読み進められたあなたは、改憲・護憲・「もう改憲・護憲だと言ってる段階ではなく憲法の中身の見直しをする段階なんだよ」という実質改憲など、様々な状況において、それぞれの観点から言論・表現の自由と相互の礼節をもって、憲法についての議論のマスに1マス進めましょう。

このチェックテストをみただけで既に「こんなものを作る奴はけしからん！正義の鉄槌を下してやる！」というテロ型の正義に陶醉なさる方は、姑息な情報操作や迷惑行為や加害行為等なく、正義をなすにも正当な手続きに沿ってあなたの実名をかけた上で、改憲・護憲などの観点に関わらず、立憲主義をとる日本国において（改憲も護憲も憲法あつてのことです）、合法的に言論による問題提起や破壊的批判ではなく建設的批判によって、社会の知をメディア・リテラシーを高めあいながら集積するようにしましょう。

最後に、このチェックテストを一瞥して、「私は中立・ニュートラル・ノータッチですの…」と様子見や世の中をつい見て見ぬフリをしそうなあなたこそ、「積極的に現状を黙認した」というような加害者

にならぬためにも、しっかりと自分の意思を声に出したり法的・倫理的・社会通念の観点からも健全な行動を起こしたりするべき「護改憲サイレント・マジョリティー症候群」に罹患しているようです。「白票を投じる」ことであつたとしても、まっとうになんらかの健全な行動を起こしましょう。

「護改憲ダイバーシティ&インクルージョン（護改憲D&I）」として、それぞれの思想・信条・志向・年齢・性別やLGBT（Q）・障がいの有無などの立場を超えて、改憲・護憲などいずれも立憲主義における憲法に向き合う以上は、その出発点である人権を大切に「お互いに幸せになりあう」言行を、過激でもなく寡黙でもなく冷静に、企業においては「内部自治」として、社会としては自治として、「みんなで作ったルールをみんなで守りあう仕組み」に沿って、適法・適切な状態で進めていければ良いのではないのでしょうか。

投げかけるべきものは、石・火炎瓶・物騒なもの・罵声・誹謗中傷などではなく、健全な問題提起であるべきでしょう。

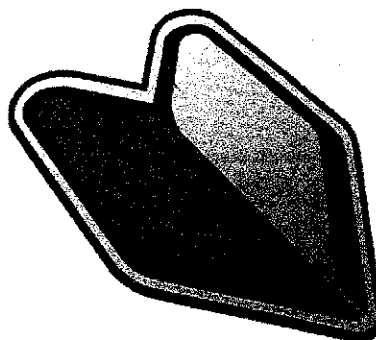


図4

本稿が社会的に強く求められている人権対応・ダイバーシティ&インクルージョンに関する問題において、読者諸氏のお役に立つようであれば幸甚である。

また、本稿を契機として、筆者の見識不足であれどあれ、CSVに関する議論やその他各種課題についての議論活性化の呼び水となるようであれば、筆者としては幸いである。

メーカー・卸・小売を結ぶ流通情報総合誌

# 流通ネットワーク

7・8 2017  
JUL・AUG  
NO.302

## 特集

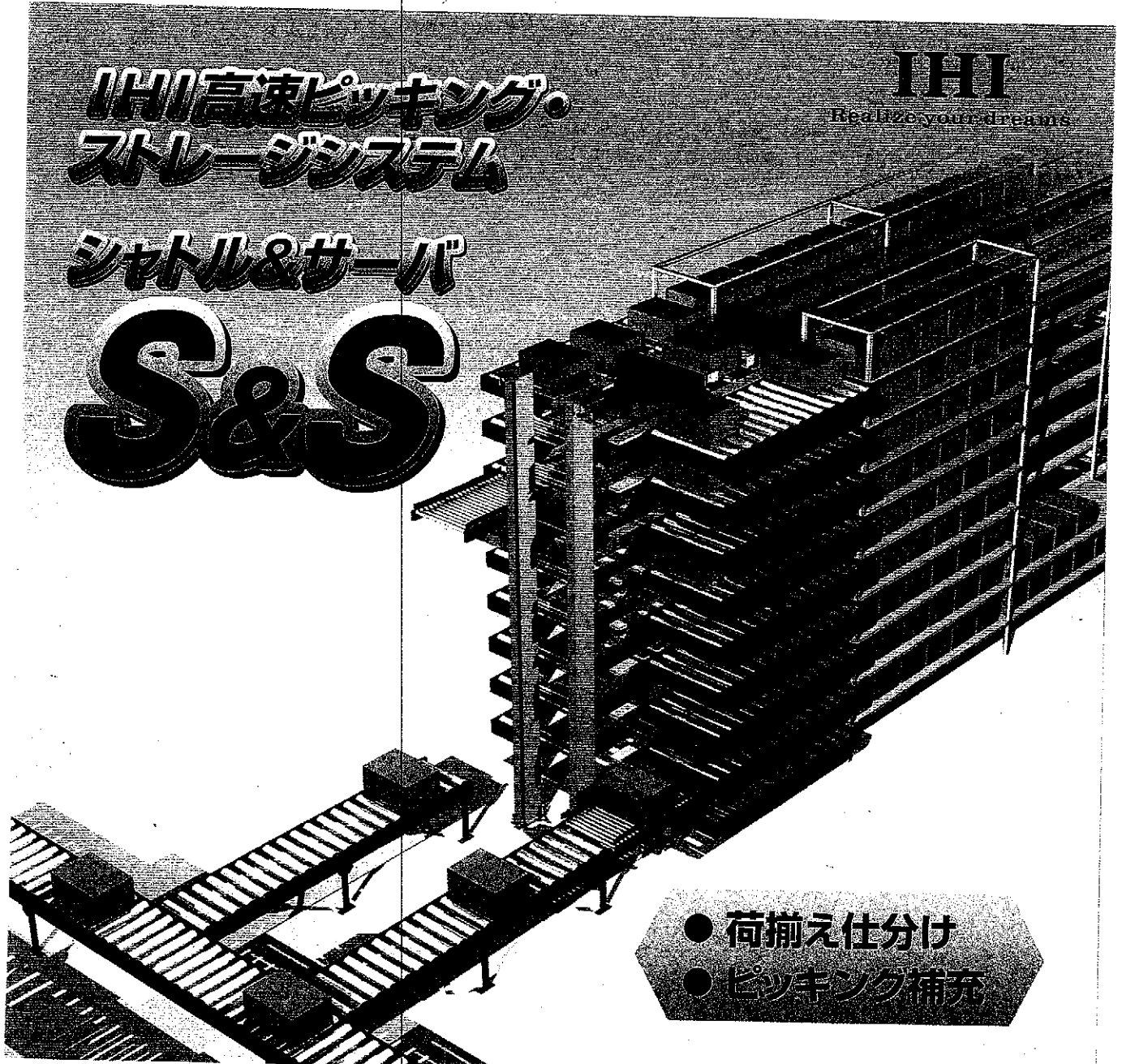
- ①我が社のインターンシップ事情
- ②働き方を変えるシェアリングエコノミー

IHI高速ピッキング・  
ストレージシステム

シヤトル&サーバ

S&S

IHI  
Realize your dreams



- 荷揃え仕分け
- ピッキング補充